

議事録	会議名	第7回 駒込中学校の建て替え等を考える会
議 題	1	開会
	2	第4回グループワーク
	3	その他
日 時	令和8年7月14日（火） 18：30～20：00	
場 所	駒込中学校 体育館	
出席者数	小川文幸会長（駒込中学校 PTA 会長）、他委員 17 名 傍聴人 6 名 事務局 コンサルタント（5 名） 区職員（5 名）	
会 議 内 容（要 旨）		
<会の概要> ・ 開会 ・ あいさつ ・ 本日の取組みについて 第4回グループワーク ～提言書案を確認しよう～ ・ 配置修正案について ・ グループワーク ・ 全体共有&意見交換 ・ その他 ・ 次回考える会の日程について <本日の取組みについて（資料1）> ・ 事務局から資料の確認と本日の取組みについて説明をした上で、年内に区へ提言書を提出することを確認した。 第4回グループワーク ～提言書案を確認しよう～ <配置修正案（資料2、資料3）> ・ 事務局から第6回考える会のグループワークでのテーマである「学校の配置案の検討と導入機能をイメージしよう」の振り返りをしながら、東京都の安全条例の建物の高さ制限を踏まえ、修正が必要となったことを説明し、前回からの修正案（A´案、B´案、C´案）が提示された。 ・ 区の方針（プールについて）は、現時点では学校内に屋内プールを建設する方針であることを説明した。 <グループワーク（資料4）> ・ 事務局から、前回のグループワーク等の意見を基に、コンセプト案と5つの基本方針案を説明した。その上で3グループに分かれて、コンセプト案や基本方針案について話し合いをした。		

《全体共有での意見概要》

A 班

- ・「子どもが第一」なのは良いと思う
- ・子どもたち、ではなく「子ども」でも良いのではないか。
- ・中学生に対して「子ども」は違和感がある
- ・地域のつながりを強調する意味でも「駒込」は入れたい など

B 班

- ・駒込らしい何かを盛り込みたい。例：染井よしの、ソメイヨシノ、桜など。
- ・何よりも子供のためになる学校づくりを。
- ・授業中だけでなく、放課後も魅力ある空間づくりをしたい
- ・方針2の①防災の項目に救援センターのことを入れたい。地域の避難所（救援センター）としてほしい。 など

C 班

- ・「子ども（たち）」という表記について、中学校なので「生徒（たち）」にするのはどうか。
- ・「子どもたちを第一に考える」というのは当たり前のことではある。
- ・「地域」という一般名詞でなく、地名を入れるのはどうか。「染井」、「ソメイ」「ソメイヨシノ」を入れてはどうか。
- ・「駒込」は、駒込駅が連想されたり、巣鴨駅に近い地域の人に“疎外感”のようなものを感じさせてしまう。
- ・桜や緑、自然といったキーワードを入れたい。
- ・校歌の中に「染井の桜」といった象徴的な単語・フレーズがある。参考にしたらどうか。
- ・防災の視点をコンセプトに入れることはできないか。

全体

- ・コンセプト案に駒込中学校らしさを盛り込みたいということから、「ソメイヨシノ」「駒込」といった具体的な言葉を入れる。
- ・最終的に「子どもを第一に」「ソメイ／駒込の歴史とともに」「未来へつなぐ学校」という方向性で概ね合意した。ただし、最終的な表現は役員で最終確認後に再提案する。

<その他>

- ・事務局から、仮校舎についての設計概要の説明があった。

以上

次回日程	第8回考える会 2026年9月を予定
------	-----------------------